

沖縄キリスト教学院大学 人文学部

観光文化学科

学生企画・プロデュース模擬挙式

LGBTQ+WEDDING

2025年2月3日(月)、観光文化学科1年次が企画・プロデュースした模擬挙式を本学チャペルで開催しました。この取り組みは、本学の授業「フレッシュマン・セミナー」の中で、「ブライダル特別寄附講座」の最終発表会として行われました。

この講座は、一般社団法人沖縄未来人材育成ラボが、株式会社アールディ・フィールズ沖縄および沖縄ワタベウエディング株式会社と共同で開催し、全6回にわたり実施。学生たちは「OBOGが挙げたくなる学内チャペルを活用したウェディング」をテーマに6チームに分かれ競い、今回は「LGBTQ+」をテーマにしたウェディング企画が選ばれました。

同性婚を想定した挙式では、「新婦2名」がウェディングドレス姿で登場。厳かな雰囲気の中、幸せに包まれた素敵な式となりました。挙式後にはアフターセレモニーも行われ、参列者をもてなしました。

新婦やエスコート、音響、カメラマンなど、すべての役割を担った学生たちは、何度も打ち合わせやリハーサルを重ね、無事に挙式を執り行うことができ、終了後には安堵した表情を見せていました。



学生コメント



観光文化学科1年次
國吉遥奈さん
(具志川高校出身)

未だにLGBTQに対する偏見が残っており結婚までの決断に勇気が出ない方が沢山いると思います。今回ありがたいことに多くのマスコミの方々取材いただきました。この模擬挙式を機に世の中の性への捉え方も広がってほしいと思っていますし、そういった方々の背中を押すきっかけになってくれたら嬉しいです。ニーズに合わせた会場作りというのともとても勉強になりました。

観光文化学科での学びを通じて観光業の魅力も実感し、入学して良かったと心から感じています。

教員コメント



観光文化学科長
平野典男 教授

観光学は理論と実践が重要であり、理論を具体的な事象や実務に応用できる能力が求められます。学生たちはLGBTQ+模擬挙式を通じて、教室で1年間学んできた知識やアカデミックスキルを実践に移し、互いに協力して多様な価値観を理解し、他者との共生を目指す経験ができたのではないかと思います。

協力がいただいた企業団体の皆様には学生の成長を温かく見守っていただき、心から感謝を申し上げます。